

圓覚寺 護持会会報

文 殊

平成30年 新春号



平成30年
第7号

賀 春



住職 成田 大航

新年明けましておめでとうございます。檀信徒の皆様におかれましては良き初春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は、和敬会（地元7ヶ寺）の花まつり当番に始まり、寺内の事ですが、徒弟宗寛の結婚式等があり、総代さん始め関係者の方には大変お世話になった一年でありました。檀信徒各位にも、旧年中は寺門護持にひとかたならぬご尽力賜り誠に有り難うございました。

過去を振り返り 今を見つめること

昨今の日本の宗教事情はまさに激変の真っ只中という感じがします。十年ほど前から、お葬式も行わずに病院から火葬場へ直行する「直葬」という言葉が出てきて驚かされたのですが、昨年くらいからは、火葬した後のお骨を拾いに来ないという「0（ゼロ）葬」という言葉が生まれ、都

会ではお骨もいらさないお墓も作らないというケースが増えているそうです。

激変する時代だからこそ、過去を振り返り、今を見つめることが大事なのではないかと思えます。大きな話になりますが、日本にとって幸いであつたことは、なんとと言っても仏教が伝来した最初の時期に、時の聖徳太子が仏教を深く理解されて国作りの柱とされたということであります。最初は国土の安寧を祈る国家仏教でありましたが、平安の時代には、末法思想の中で、貴族や一部の裕福な者が父母の菩提を弔う為に寺を建てる事で救いを求めた時代がありました。そして、鎌倉時代になって、やっと今日の十三宗五十六派と言われる民衆の仏教が生まれるという過程を経てきました。

徳川二六五年にわたる江戸の安定した時代では、円覚寺のような檀家寺が全ての村に建てられて、村役場の仕事から日常的な祭事にいたるまでの中心的な役割を近世まで果たしてきました。今日私たちが行う行事や作法は、少なくとも四五百年の長い積み重ねや取捨選択を経て出来上がってきた

たものであります。ひとつひとつに意味があり、先人が大事に引き継いできたものばかりです。それが、このわずかな数十年の間に音を立てて崩れかかってきていると言う憂うべき現状があります。

激変の理由にはさまざまの理由があり、地域の力の崩壊、核家族化の問題等いろいろあるとは思いますが、ここ最近の、変貌する人のこころの変化には疑問符が付くことばかりであります。大きく揺らぐ波の上にあつてやはり大事なのは、過去を振り返り、そこから学び、今を見つめることで今後はどうあるべきかが見えてくるのではないかと、そう思うこの頃であります。

大風呂敷を広げてしまいましたが、（聖徳）太子が初めて仏の教えに出会った時の感動を想像し、仏教の力をもっと信じて頂けるよう切に念じ、年頭の御挨拶と致します。



前回昭和39年の東京オリンピック聖火リレーが福知山を通過した際の写真（芦田利一様撮影）

合掌

和敬会 花まつり



昨年よりご案内の「和敬会花まつり」が、八年ぶりに当円覚寺にて開催されました。四十四名のお稚児さんによる稚児行列、円覚寺本堂での灌仏法要・落語やマジックのアトラクション・飴撒きと二〇〇名を越える

ご参加を頂き、賑やかに開催出来ました。役員様始め土師保育園様、自治会の皆様には大変お世話になりました。お礼申し上げます。



各寺院総代・自治会長様・ご詠歌謡・お稚児さんと保護者の方が紅白の紐を引きながら、白像に乗ったお釈迦様の誕生仏を会場・円覚寺まで行列して歩きます。



行列が山門から到着。すぐに本堂にて灌仏法要（お釈迦様ご生誕を祝う法要）が行われます。



ご詠歌の奉詠・読経と共に、お稚児さん・参加者一同が灌仏（花御堂に架られた小さなお釈迦様に甘茶をかけます）



KBS 京都ラジオパーソナリティの笑福亭晃瓶さんの落語とピックリツカサさんのマジックで大いに盛り上げて頂きました。



後は恒例の飴撒き。各寺院総代様・来賓並びにご詠歌の皆様で中食のご供養の後お開きとなりました。

謹賀新年

新年明けましておめでとうございませう。平成三十年の新年を迎え檀家様各位におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、円覚寺護持会の運営には大変なご理解、ご支援、協力を賜っていますことに厚く御礼申し上げます。

昨年は、護持会の行持やお寺さんの慶事が重なりアツと言う間に過ぎた一年でありました。まず、四月二十九日は八年ぶりに和敬会主催の花まつりが当番寺として円覚寺で開催されました。当初お稚児さんがなかなか集まらず、住職はじめ役員一同必死になって努力した結果、四十数名の稚児さんに参加してもらうこととなりました。午前中の素晴らしい天気にも恵まれ稚児行列に続き、本堂での法要も滞りなく執り行われました。アトラクションとしてラジオで活躍の、落語家の笑福亭晃瓶師匠やブロのマジックなどを楽しんだ後、出席頂いた和敬会各寺院の住職をはじめ関係者の方々に、簡単なお食事をさせていただきました。円覚寺の役員女性が作ったおいしいお味噌汁を食してもらいながら無事花まつりを終える事

代表総代 伊東 高志

が出来ました。また、この花まつりに合わせて前年より進めてきました本堂のトイレ改修が完成しまして、当日はもとより今後の人寄り時には大いに役立つものと思っております。

七月六日は住職の徒弟の宗寛さんと茉莉奈さんの結婚式が円覚寺本堂の仏前にて、大本山永平寺前副監院（かんにん）丸子孝法老師の式師により執り行われました。午後からロイヤルホテルで結婚披露宴が行われ、不肖私ども夫婦の媒酌により、随喜寺院の各住職をはじめ、新郎の雲水時代の多くの仲間や新婦の友人の方々に祝っていただきました。また、九月末にはお子さん（女の子）が誕生し菩提寺円覚寺の次代を担う家族として期待と繁栄を檀家一同心よりお祈りしたいと思います。

また、住職の長女の麻伊佳さんも結婚され新しい生活を始められ、お寺さんにとつては二重の喜ばしい出来事となりました。墓地関係では、新規の入壇や墓地購入を希望される檀家さんもあり、無縁墓地の早期改修の必要性に迫られ、二か所の無縁墓



宗寛さんと茉莉奈さんの結婚式（7月6日）



今年も色々忙しい一年になると思いますが、檀信皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げますと共に、ご健勝とご多幸を祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。

地の整備とそれに伴う無縁墓石の集積場の改修整備を土師観音横にいたしました。今後無縁墓地の改修も檀家さんの希望に応じた改修を進めたいと思っております。



黒山土砂崩れからの一連の工事が全て完了致しました。

本堂裏 東司(手洗い)工事について

本堂裏に隣接した旧来の手洗いが、使用出来ない状態でしたが、藤岡設計様並びに大下工務店に工事をお願いして、花まつりまでに完成致しました。



工事中の様子



無縁墓地の改葬について

平素は、墓地管理にご支援・ご協力を頂きましてありがとうございます。
唐突ですが、土師墓地の中に白い看板が立っているのをご存知の方は、どの位いらっしゃるでしょうか。この様なお尋ねをする私自身、今の役をお受けするまでは墓地の事に全く関心もなく当然知りませんでした。
この看板が立っている処が、縁故者の方がいらっしゃらない荒れた「無縁墓地」であります。墓地内に十五ヶ所ありました。

先の総代の方が、墓地の環境整備を推進する為に平成二十五年三月十一日「無縁墳墓等改葬公告」を官報号外四十八号に公告し、縁故者の方からの申し出を受付ましたが全く無く平成二十六年四月以降、法的措置も済み土師墓地管理会の管理地となり改葬が可能と成りました。
本年新年度に入ってから早々に、無縁墓地の場所が良いので永代使用契約を要望される方が二件ありました。近年は、引墓をされる方が多く新規契約が殆ど無い状況の中、有難い話なので是非契約に結び付けたいと考えました。
そして、改葬の進め方について任職に指導を仰いだところ、
○無縁墓地は、縁故者の方が居られないので承諾なしで墓石等を処分する事は出来ない。従って、墓石・遺骨の安置場(三界萬霊塔)を造り永久に管理しなければならぬ。
○設置場所は、土師観音の北側で永代供養墓地に隣接した無縁墓地二筆の広い場所が最適。
との提案を受けました。
改葬を進める上で、墓石・遺骨の安置場が必要であり早急に工事を実施する事に決



墓地の環境整備につきまして、ご意見を伺い、ご要望をお聞かせ頂きましたら、今後の参考とさせていただきます。引き続きよろしく申し上げます。
総代墓地担当
芦田 忠義

めました。工事業者との打合せを重ね、詳細条件まで詰め・設計書・見積書の確認をし、四月二十四日工事着手を決定しました。また、無縁墓地三ヶ所の改葬工事も同時進行で依頼しました。
天候にも恵まれ工事は順調に進み、予定より早く七月三日完成致しました。尚、改葬工事後ただちに二件の永代使用契約を結び、現在では既に新しい墓地が出来上がっております。写真の通り立派な安置場(三界萬霊塔)が出来ましたので、是非一度ご覧頂きたく思います。
あと十ヶ所の無縁墓地につきましては、年次計画をたて改葬を進めて参ります。また、少しでも便利にお参りがし易いよう土師観音の近辺に水道の増設を検討しております。

仏具寄進のご報告



お盆供養に施主様を呼びかけさせて頂きました。が、予定数を超えるお申し出を頂き、一人用机が24脚・背もたれ付きアルミ椅子を37脚揃える事が出来ました。会議や来客用も全てテーブルと椅子で対応出来るようになりました。
茲にお施主名(到着順)を記し感謝申し上げます。

- 芦田輝彦様(60) □ 芦田高人様
- 高橋ちよ子様 □ 廣氏謙二様
- 芦田照男様 □ 芦田照代様 □ 吉良
- ちよみ子様 □ 小前美佐子様 □ 佐藤敦様
- 佐藤友治様 □ 芦田昌浩様 □ 芦田
- 充也様 □ 芦田昌裕様・芦田耕一様・
- 伊東重人様(3名1口) □ 芦田健司様
- 大池坂 芦田洋子様 □ 高橋善男様
- 芦田瑞枝様 □ 芦田彰宏様 □ 芦田
- 健様 □ 高橋正様 □ 仲井きみ代様



仏教振興会 研修旅行

H29.10.17 西本願寺・京都国立博物館の跡

□ 曲録再調寄進
法要で導師が座る曲録が大分傷んでおりましたが、芦田久雄様・芦田ひさ様(故人)の施主名にて、芦田家供養として塗り直し、金具等の再調をさせて頂きました。



